

区民交流スペースを考えよう！

2020.10.24 [土] 13:30~16:00



WORKSHOP

区民が使える場所について、
自分たちで考え、創造しよう！



昨年度の総合庁舎整備基本計画策定ワークショップに引き続き、今年度は基本設計段階でのワークショップを開催することとしました。前回頂いた意見に加え、ウィズコロナ・ポストコロナ社会も展望しながら、総合庁舎のより具体的な機能や区民交流スペースの活用方法などについて、全2回のワークショップを通じて区民の皆さんと意見を交わします。

参加者：オンライン10名、会場19名

会場：ZOOM・西京区役所 大会議室

PROGRAM & TIME TABLE

- 13:30 はじめに・ご挨拶・進行役紹介
- 13:40 これまでの振り返り・基本計画について
- 13:55 新庁舎のイメージ
- 14:15 ワーク説明
- 14:30 グループに分かれて意見交換①
- 15:20 グループに分かれて意見交換②
- 15:50 発表・共有
- 15:55 まとめ・おわりに
- 16:00 終了

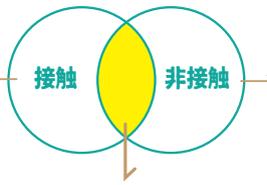


（準備）接触・非接触のベストミックスを考える

ワークショップを企画運営するにあたり、まずコロナ禍における話し合いの仕方を模索しました。

オンライン（ZOOM など）とオフライン（会場での対面）の両立を目指しました。

これまで同様、対面での話し合い。ただし、3密に配慮して開催。



NEW!
PCやタブレットなど、オンライン上での話し合い。対話の方法に工夫が必要。

NEW!
両方を実現することで、タブレットなど、オンライン上での話し合い。対話の方法に工夫が必要。



会議室では、いつもよりも距離を取り、換気にも配慮。



オンラインでは、参加人数やツールなど対話の方法を工夫。

オンラインでも楽しめるよう、キットを用意。折り紙建築模型、対話を円滑にするグッズも用意しました。

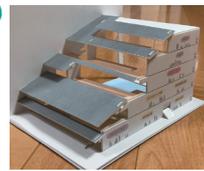


オンライン参加者には事前にキットを配布。参加の楽しさと手を動かす楽しさを生み出すようにデザイン。

キット同梱物

- ・あいさつ文
- ・当日プログラム
- ・整備基本計画
- ・新庁舎イメージ
- ・ワークショップツール
→アイデア帖、記入シートなど
- ・折り紙建築模型 (*1)
- ・コミュニケーショングッズ (*2)

(*1)



建築の構成を理解してもらうため、誰でも簡単に作れるように折り曲げ線と切り込みがあり、屋根を載せれば完成する模型をオリジナルで制作。

(*2)



でか耳やお面、いいねラッグなど、音声を発さなくても画面越しに見て楽しめる環境を生むグッズをデザイン。

ベストミックスな環境下における会の進行方法を工夫しました。

当日は、オンライン環境（参加者対応など）をサポートする技術スタッフ、対面での場を進行するスタッフ、オンラインでの場を進行するスタッフに分かれて、会全体の進行をサポートしました。



技術スタッフ（事務局）
→オンライン環境の運営支援



オンラインファシリテーター
→ZOOMでの話し合い進行支援



会場ファシリテーター
→会議室での話し合い進行支援



ワークショップの基本的な考え方

前回（基本計画時）同様、今回も話し合いの「心構え・キーワード」を決めました。

今回の特徴である「軒（のき）」とその下での活動を意識させるキーワードを考えました。

前は計画づくりだったため、「具体的な個々の答えではなく、進みたい方向（良い方向）を見つけよう」という考えで「えほー」というキーワードを掲げましたが、今回は、新しい建築の特徴である「軒」とその下での活動を考えることが大切となるため、「のきによき」というキーワードを考えました。

【基本計画時ワークショップ】



ええ方向を見つけたから...

【基本設計時ワークショップ】



によきと伸びた「のきの下」をみんなで考えよう！

2 プログラム紹介

ワークショップ当日の流れについて、テキストと写真を添えてご紹介します。

13:30 はじめに 区長あいさつ

宮崎西京区長から、開会の挨拶として、ワークショップ開催の意義と目的、新しい区庁舎への思いなどについて話しました。



13:40 事業概要説明

文化市民局地域自治推進室から、西京区総合庁舎整備事業基本計画、そして前回の話し合いの様子について紹介しました。

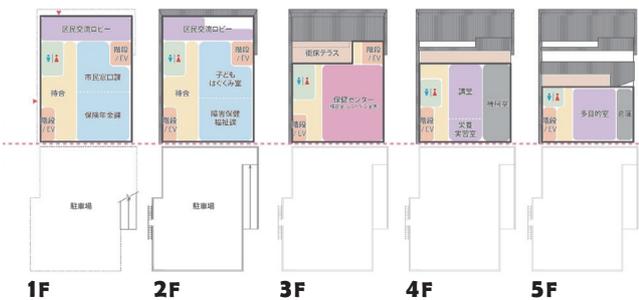


13:55 新庁舎について

基本設計を担当する東畑建築事務所の松本氏より、今回の建築の特徴と外観イメージ、フロア構成、区民交流ロビーについての説明がありました。



[フロア構成 (第1期)]



[外観イメージ]



[区民交流ロビー (左: 1F、右: 2F)]



[紹介映像 (CG)]



14:15 ワーク説明

[ワークテーマ] 区民交流スペース等を活用した地域活動
→ したい活動の「具体イメージ」を教えてください

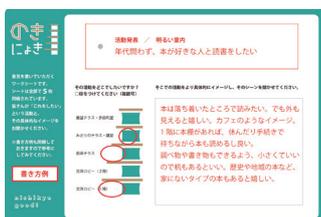
STEP 1 意見カードの中から気になったものを選ぼう!



2019年度に実施した基本計画ワークショップで出てきた意見を整理しまとめたものです。

- 6つのカテゴリ
- ① 活動発表
 - ② 子ども
 - ③ やさしさ
 - ④ 交流しやすい環境づくり
 - ⑤ 伝える・伝える
 - ⑥ 周辺環境

STEP 2 そのカードの「具体的なシーン」を考えよう!



- ・できるだけ具体的にイメージする
- ・まずは場所から考えてみる
「どこでやるのがよさそうかな〜」
- ・次に、そのときの具体的な状況を思い浮かべる
「こんな使い方、過ごし方ができたらいいな〜」

進行役紹介

ワークショップの進行役を務めるのは、コミュニティデザイナーの内海 慎一氏です。



内海 慎一 (うつみ しんいち)
LifeWork/ コミュニティデザイナー
名古屋市出身、尾道市在住。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。

STEP 3 書いたカードをグループで共有しよう!



STEP 4 他人の意見に対して一言コメントシートを書こう!



ワーク結果は次ページ以降参照

3

ワーク結果

計8つのグループ（会場：4グループ、オンライン：4グループ）で話し合った内容についてまとめました。

出てきた意見を、フロアごとに分けてまとめました。

1F

気軽さ

- ふらっと入れる、出られる、知らずに来てでも参加できる、いろいろな人の目にふれる場所に。
- 早朝や土日でも使える。少し遠くでも自動車で行きたい。 ○バッグや荷物が多くなるのでトイレ内に荷物置きを。
- 高齢者から子育てのお母さん方も使える広いスペースがある。 ○多目的ホールにベッドや長椅子などがある。

交流・つながり

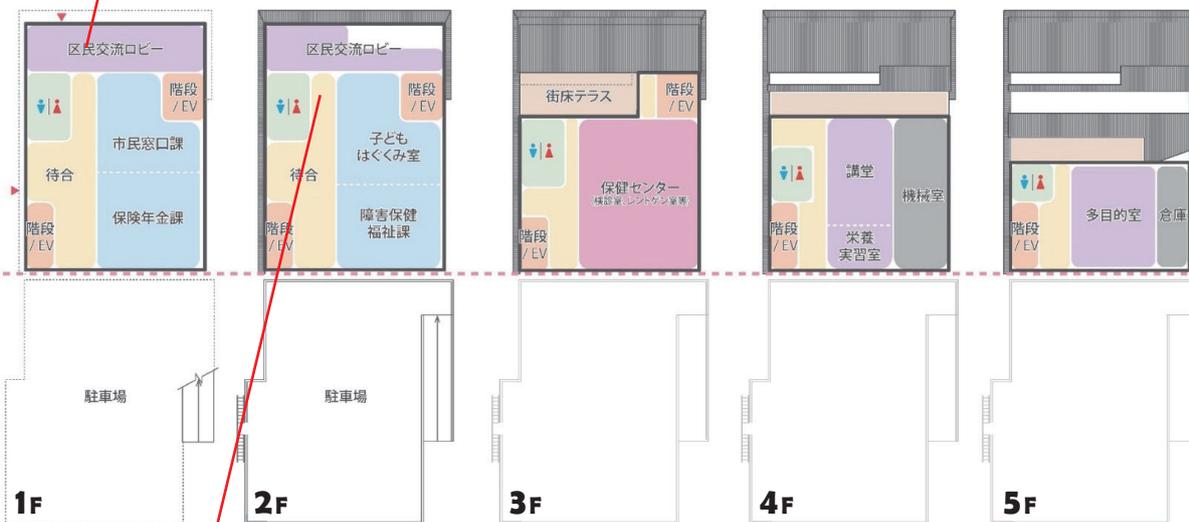
- イベントを目的に来ていない人も巻き込めるようにしたい。 ○イベントの告知や、活動のPRをしている。
- 活動についての広報誌を配架するスペースや、他の団体・区民と交流し、新しい活動を起こしていける「まちづくりカフェ」を開催できるスペースが欲しい。 ○一人暮らしの人（若者）と高齢者との交流・会話がある。
- 同じ趣味の人と出会える機会がある。そこでサークルを作り、講堂やテラスで発表会などをするきっかけとする。
- 親子で気軽に集まって交流できる。異世代交流もできると嬉しい（児童館は今コロナ禍で利用しにくい）。
- 本を寄付できるだけでなく、その場で読めると嬉しい。テラスなどで本を読んでそのあと交流ロビーで語りたい。
- 長い一枚板のテーブルがあり、子どもたちが座りながら本を読んだり勉強したりできる。明るい。近くには大きな壁面本棚がある。
- 障害のある人が働くカフェをつくる。 ○カフェスペース！持ち込みもOK。
- カフェ・ラウンジなどにはボランティアの人を募集して話し相手などをする必要があると思う。世代交流。

イベント

- 医療だけでなく専門的な知識のある集団を日替わりで来ていただき無料相談会を行う。
- 農家で作った野菜が午前中に販売したりできる場所があれば、できれば入口付近。
- 各学校から出品された画を展示したい。土日の休日にも出入りでき、親子で観に来られたら嬉しい。

防災

- 災害時に備え、平常時から準備しておく良いものを実際に置く（関心へつなげたい）。
- 防災センター機能（ボランティアセンター・電源・物資供給センターなど）がある。
- 災害時の情報を区民に対して自動音声で伝えられるシステムづくり。



2F

子ども・青少年・交流

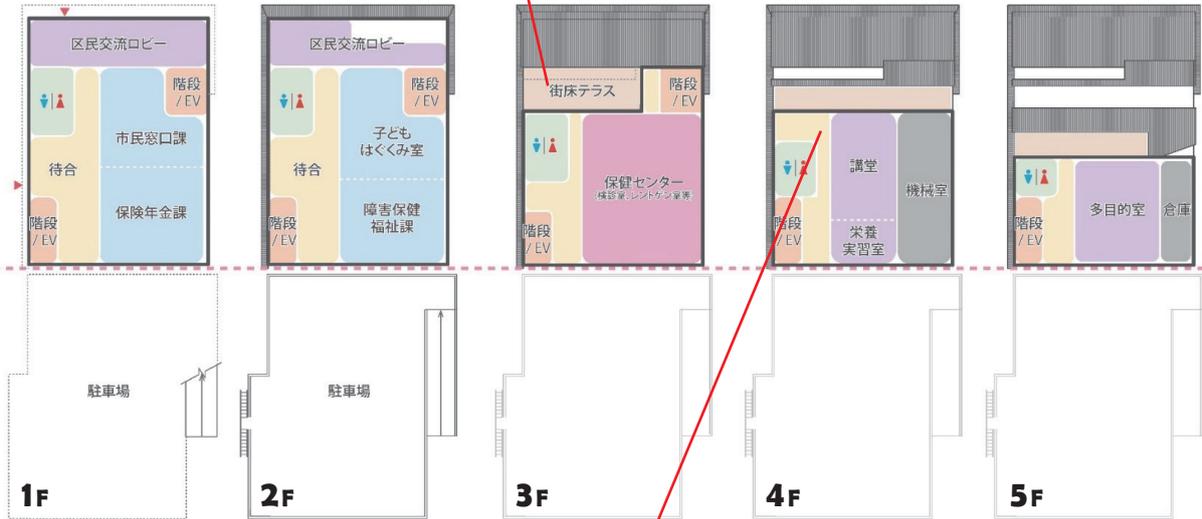
- 桂川の魚を見ることができる大型水槽（180センチ）。子どもたちが目をキラキラさせながら眺めてほしい。
- 人と交流することをメインとした場所があるといい。青少年活動センターのロビーのような、「常時企画がある（けん玉、趣味など）」「つないでくれる人がいる（雑談する人、活動を紹介、やりたいこと相談）」「多世代交流ができる場」。西京区には青少年活動センターがない…。
- 子育ての親子や高齢者との交流で年配者と若い人との交わりでゆっくりできたらと思う。
- 2階ロビーには机と椅子、自販機とFREE WiFi。自由に本を読んだりおしゃべりしたり。

健康

- 期間ごとにテーマや体の部位、症状を設定して自分の体を知ることができる。それがきっかけで、「病院へ行こう！」とか、「体を大切にしよう！」と思えたらいい。特に女性にとって産婦人科に行くハードルが高いと思うので、女性特集もしたい。
- 病院のように健康診断の予約等を簡単にして気軽に相談ができると人が集まり、コミュニケーションも築ける。

3F

- 健康**
- 血圧とかだけでなく、軽い運動した時の脈拍や筋力、肺活量などを測定したい。
 - 健康寿命を延ばすためにも（フレイル予防）気軽に相談できるスペースがほしい。
 - 柔らかいソファではなく、硬い木のベンチ（京都の柚木を使う）があるとよい。健康的にも柚木を使いたい。
- テラス活用**
- 子どもだけでなく、大人も体を動かせる公共の場所があれば。（周囲にネットを張る→夏はグリーンカーテンに）
 - 音楽を気軽に楽しめて心が癒される場所があれば嬉しい。
 - 休みの日にお弁当を食べたり、ビールを飲んだり、ごろごろできる安全な場所。夜も楽しめたらいいな。
 - 展望テラスに交流スペースを設ける。交流スペースがあると話し合いに彩（いろどり）が生まれる。



4F

- ゆとり・癒し・文化**
- 区役所で事務的な手続きをするだけでなく、少しほっこりとコーヒーを飲むカフェなどがあればいいと思う。みどりのテラスにお花がたくさん咲いていたらベスト！ ○きれいなお花（花だん）などもあれば目も楽しめる。
 - 北向きなので月は見えないが夜景は見られる。飲み物があつてのんびりしたい。
 - 役所の中では人が多く、ゆとりの空間があればいい。緑を基調としたところがあればよい。
 - 音楽で子どもたちの発表を家族で楽しみたい。特に、ピアノやギターの練習に励んでほしい。音楽は人を育てる。

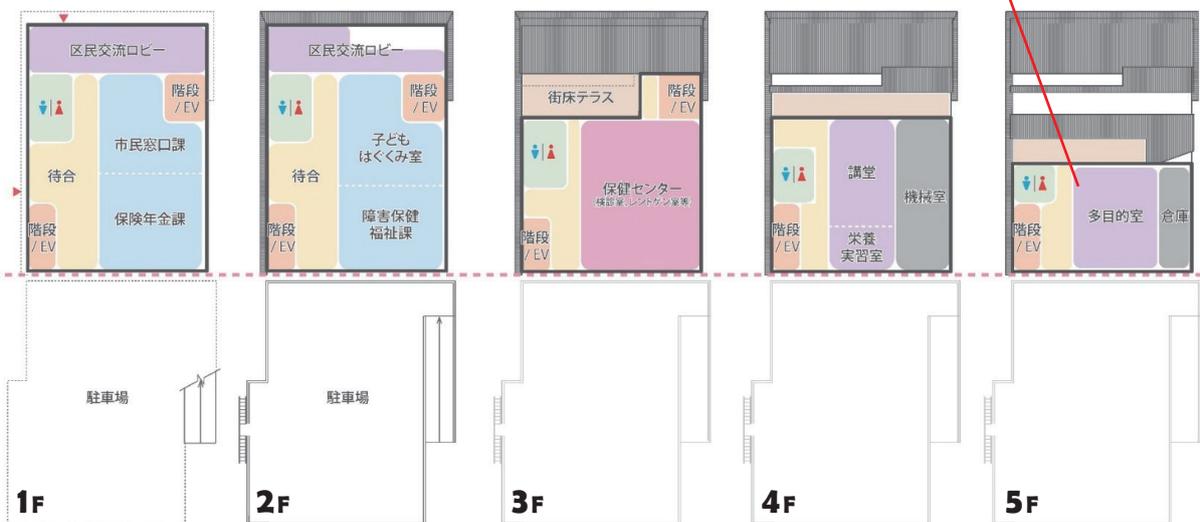


仕事・勉強・生涯学習・社会教育

- テレワークの際に利用できるスペース（インターネット環境が整っている）。おいしいコーヒーが飲める。テラスや多目的室などのなるべく静かな環境が良い。子どもを預かってくれるスペースがあるならなおさら嬉しい。
- 働くママも増えているので、一人で留守番させるのも心配。子どもが何人かで区役所に来て、宿題などできるスペースがあると嬉しい！
- 私語あり・なしの空間を分けた自習スペース。学校のない土日でも使えると嬉しい。受付やチューターなどで大学生がボランティアできる。
- 1日中勉強する人、休憩する人のために飲食できるスペースを確保（テラス?）。Wi-Fiがあったら最高。お弁当持ち込み OK。
- 留学生が来ても利用できるよう英語での説明書きを用意する。 ○人がいるというのが大切なと思う。
- 西京区には青少年活動センターがないので、その機能が果たせるような場所があれば。Wi-Fiあり（オンラインで交流も可）。青少年（10～20代ぐらい）が気軽に利用できる場所。読書、勉強、おしゃべり、ゲーム、運動など（5階は、OPEN/CLOSEがOKの空間に）。
- 地域の生涯学習スペースとして、ワークショップやイベントを定期的を開催することで、子どもから大人まで幅広い世代の学びのテーマパークとしての役割を果たしてほしい。
- 洛西の子どもたちや市民の作品も展示したりして様子が理解できるもの。西京区はひとつ。協力すると西京区ひとつで物語になりそう。
- 地域内の同じ趣味の人たちや団体のためのイベントを休日に行う際の定番の場所にしたい。
- 活動する仲間と会議室で企画や相談をしたい（キッズルームがあれば活動中助かる）。
- 気軽に集まって自由に使用できる。会議室はほしい。人数も少人数から多人数まで使用できるように。
- 少子高齢化の時代に向けて、高齢者の知識や経験を生き字引きとして活動貢献したい。
- イベントなどで使われていない時間に自習室として使いたい。個別の机が人気。防音のパーティションで会議室を区切りたい。
- 地域のボランティア活動に活用できる場。ボランティア団体によっては人数が多いところもあるため広くしたい。ホワイトボード、印刷機、筆記用具などあれば良い。どの団体も使用できるよう予約制にする。
- 大学でコミュニティカフェを運営した経験があり、西京区でも同様の地域交流の拠点が欲しいと思った。調理するスペースやテーブルなどがあればなお良い。
- シェアキッチン、オープンキッチンを作って、特産品を使ってみんなで料理！
- 多目的室を利用することで、家庭で過ごすよりも他の人たちと交流できる。

景色・自然

- 様々な世代の交流として、木の香りがほしい。
- 緑があり、木の香りがして誰もが集まりやすいスペース。別出入口があり時間も自由に使える。
- 休憩できたり、月や夜景を見れる、自然を感じられる場所。いつでも利用できる。朝は10時～夜は8時ごろまで利用したい。



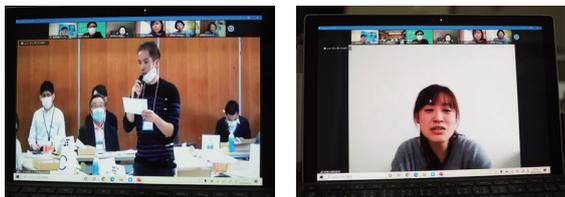
その他・場所を選ばないもの

- 利用について(仕事・勉強など)**
- 休みどころがたくさんあり、高齢者が楽しく休憩できる。障害者にとっても大切。
 - 多目的トイレの設置。ボタンを押せば開閉できる自動扉があり、なるべく広い方がよい。
 - 働く母親のために地域で子どもを預かってもらうグループがあればと思う。
 - 転んでも安全なよう床をマットにする。安全なおもちゃや絵本を置く。 ○子どもが喜びそうな柄を施したタイルの床も楽しそう。
 - 西京区はコワーキングスペースが数軒しかないで作ってほしい。同じ地域の人が利用するので特に間仕切りもなくてもいい。特に平日 17 時～ 21 時、土日が開いているといい。 ○夜間や土日も子どもと家族と、または一人で利用できるといいな。
 - 手続きとか行政を目的とするのではなく、「ここに来るのが目的になれば」という思いがあると思うので、ふらっと立ち寄れる場所であってほしい。 ○BGM がほしい。 ○手話通訳できる人や点字の読み書きができる人がいてほしい。
- 活動・交流・つながり**
- チャレンジショップ、地域ボランティア活動に活用できる、異文化交流、土日・夜も集まれる(市民が運営)、パパの交流、など階ごとに特色がある。
 - 館内にいくつか交流看板を置き(カテゴリを分ける/ママ看板、趣味看板など)、自由に貼り付けられるようにする。
 - サークル活動をしている人たちが無料で発表できる会場・場。
 - 模型(鉄道模型 N ゲージ)を置き、休日には子どもたちやファンを集めて、運転会や地域交流のイベントがしたい。
 - 家に要らなくなった本がたくさんあるので、それを他の人にも読んでもらいたく、京都関連や子育て、まちづくり、趣味などの幅広いジャンルの本を配架できるスペースが欲しい。
- 西京区らしさ**
- 例えば、桂川で分かれているが、右京区や乙訓界隈と、もっと西地域として大きなイベントを行う。乙訓→西京→右京と物語的なまち歩きができそう。 ○本庁と支所の交流ができるようにシャトルバスで活動を。
 - 洛西管内との交流を図るべく、展示等(写真展等)を持ち回りで開催。
 - はっきり西京区がイメージができるシンボル(竹)をつくり、区民がより愛着を持てるようにする。
 - エントランスに西京区らしい特色と工夫を。



15:50 発表・共有

プログラムシートに目印が書いてあった人より、全体に向けて今日の感想を発表してもらいました。



15:55 まとめ・おわりに

発表終了後、進行役から全体のまとめを伝え、次回の案内をし、第1回ワークショップを終えました。

記念撮影!



nishiky
good!

4 SPECIAL THANKS

佛教大学社会学部 水上ゼミの学生が、ワークショップの様子を動画にまとめてくれました。



動画



5 参加者の感想

感想シートに書いていただいたワークショップの感想を整理し、まとめました。

今日の感想（会場）

- ・設計案までできていたことに驚いた。また、手軽に模型ができることに感動した。建物のイメージもしやすくよいと思った。
- ・自分には思いつかなかった意見を色々な方から聞くことができ、自分自身の勉強にもなり、とても楽しかった。自身の事業にも活かしたいという気持ちとともに、西京区がより良い地域になれば嬉しいと思った。
- ・完成へのイメージが伝わってきた。新しい総合庁舎のイメージに皆の提案が活かされている。
- ・未来の西京区は、新しい生活の場、楽しい生き方が生まれる西京区にしていきたい…。皆の大きな熱意が感じられた。
- ・今まで住んで仕事をしていただけだが、実際に未来の西京区と一緒に取り組むと現実味がわいて楽しかった。もっとよく地域のことを考えるようになった。
- ・市民も巻き込むならもっと突拍子もないアイデアを取り込んでいくとぶっとんだ西京区ができそうです。枠を外して突き進もう！
- ・大変良かったと同時に初めてのオンラインで楽しかった。参加者全員がほぼ思っていることは同じことだと感じた。
- ・皆の想いが集成、集約されて、西京区民として誇れる庁舎の完成を待ち望んでいる。

今日の感想（オンライン）

- ・リモート参加だと他の参加者と話す機会が少ないかと思っていたが、リモート上でたくさんお話が出来、色々な意見を聞くことが出来て良かった。
- ・グループごとにファシリテーターがいてもらえたおかげで、安心感があり、円滑に対話することができた。
- ・気合いの入ったキットが届きワクワクして当日が楽しみだった。オンライン参加は緊張したが、説明等がスムーズで聞くことに集中できたので、かえってわかりやすかった。
- ・ブレイクアウトルームでは少人数でじっくり話し合いができた。
- ・オンラインのため、画面越しの相手の反応が分かりにくいのが心配だったが、メガネや旗などのリアクションを伝えるグッズを用意してくれていたため、声を出さずとも同意を伝えたりすることが出来て良かった。
- ・オンラインのワークショップということで、どんな進め方になるのかとドキドキしていたが、ファシリテーターがスムーズに話を進めてくれ、安心して発言することができた。また、一方的な「発言」にならず、グループで「意見を交わす」ことができたのでよかった。
- ・整備の内容やスケジュール等の説明もオンラインの方がじっくり見れたように思う。

6 次回案内

第2回

日時：11/28（土）13:30～15:40 会場：ZOOM・西京区役所大会議室

内容：変化に対応できる庁舎を考えよう！・届け私たちのメッセージ！

7 進行役からのアドバイス



コミュニティデザイナー
内海 慎一
(LifeWork)

コロナ禍で大変な中、総合庁舎を考えるワークショップにご参加いただきありがとうございました！オンラインと会場との同時開催にチャレンジさせていただきましたが、皆さんのご協力とご理解のおかげでスムーズに会を進めることができました。新しい生活様式の実現に向け、今日得ることのできた反省点をしっかり次へとつなげたいと思います。

今回は設計のための話し合いです。そのため、より具体的な「シーン」を皆さんにお伺いしました。ここで出てきた使い方の意見が、数年後、実際に行われているものと想像して設計を進めていきます。そのため、ぜひ今日でた魅力的な活動や取り組みのタネを育てていってください。生活のプロ（区民）から設計のプロ（東畑建築事務所）への良い橋渡しの機会となるよう次回も工夫して進めていきますので引き続きよろしくお願い致します！